

全般的な事項

- 感染防止のために実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所に提示すること。
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること。
- 障がい者や高齢者など利用者の特性にも配慮すること。
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報取り扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者から提出を求めた書面について、保存期間（1ヶ月を目安）を定めて保存しておくこと
- 各大会後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておくこと。

前日までの対応

- 参加生徒が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせる。 （関係書類提出が必須）
 - 体調がよくない場合（発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること（待機時や更衣など練習や演技を行っていない時や会話の際にはマスクを着用すること。
- こまめに液体石けん等による手洗いとアルコール等による手指消毒を実施すること。
- 他の参加者や指導者・応援保護者等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること。（ただし、障がい者の誘導や介助を行う場合を除く。）
- 練習・演技中に大きな声での応援・声援、会話等を控えること。
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- 各大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

当日の受付時の対応

- 受付には、検温計と手指消毒剤を設置すること。
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼びかけること。
- 人と人が対面する場所は、アクリル板・透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること。
- 参加者が距離を置いて並べるように目印の設置等を行うこと。
- 受付を行うスタッフには、フェイスガードとマスクの併用が望ましい。
- 受付時の書面記入や書面授受等を極力避けること。
- 受付時の玄関等における混雑を極力避けること。
- 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求めること
 - 氏名、年齢、住所、連絡先 ※個人情報の取扱いには十分に注意すること
 - 大会当日朝もしくは入館時の体温
 - 大会2週間前後における以下の事項の有無（健康観察シート等の配布・回収・保管）
 - 平熱を超える発熱（概ね37度5分以上）
 - 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者と濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の経過観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

大会参加者への対応

□マスク等の準備

- 参加者がマスクを準備しているか確認すること。
- 受付、着替え、演技を行っていない間については、マスクの着用を求めること。
(練習・演技中のマスクの着用は、参加者の判断によるものとする。)

□大会参加前後の留意事項

- 大会前後のミーティングや会議等においても、3つの密を避けること
- 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること

主催者が準備する事項

□手洗い場所

- 手洗い場にはポンプ型液体石けんを用意すること。
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること。
- 手洗い後に手を拭くために使い捨てペーパータオルとゴミ箱を必要に応じて用意すること。
(参加者にはマイタオルの持参を求める。)
- アルコール等の手指消毒剤を用意すること。

□更衣室、休憩・待機スペース

- 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること。
(障がい者の介助を行う場合を除く。)
- 一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること。
- 館内で複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等)については、こまめに消毒すること。
- こまめに換気を行う。できれば常時換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること。
- スタッフ(競技役員・コーチ)が使用する控え室等には、入退室の前後に手洗いをすること。

□洗面所

- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー等)については、こまめに消毒すること。
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すように表示すること。
- 手洗い場にはポンプ型液体石けんを用意すること。
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること。
- 手洗い後に手を拭くための使い捨てペーパータオルとゴミ箱を用意すること。
(参加者にマイタオルの持参を求める。)

□観戦客の管理

- 観戦客(応援等)を入館させる場合には、観戦客同士が密な状態にならないよう、必要に応じ、座席指定や観戦客人数等を把握した対応をとること。
- 大声での声援や大きな声での会話を控えること。
- 会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知すること。

□競技会場

- 換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと。
- 換気設備(扇風機等)を適切に運用すること。
- 定期的に窓を開け、外気を取り入れる等の換気を行うこと。

□ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などがついたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人はマスクや手袋を着用すること。
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず液体石けんで手を洗いし、手指消毒をすること。

参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。（書面で確認を行う。）
 - 体調がよくない場合（例：発熱、咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の経過観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること。（更衣時や演技を行っていない間や会話をする際には、必ずマスクを着用する。）
- こまめに液体石けんでの手洗いとアルコール等による手指消毒を実施すること。
- 他の参加者、応援者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2 m以上）を確保すること。（ただし、障がい者の誘導や介助を行う場合を除く。）
- 練習中や演技中に大きな声で応援等を控えること。
- 感染防止のために主催者が決めた各種措置等を遵守し、主催者の指示に従うこと。
- 各大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- 各大会の前後のミーティングや懇親会等においても、3つの密を避けること。

練習・演技を行う際の留意点

- 十分な距離の確保
 - 練習中・演技中を実施している、していないに関わらず、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を開けること（※補助者や指導者の必要な場合を除く。）
 - 強度・負荷がかかった技の場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること。
 - マスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に注意する必要があること。（感染予防の観点からは、少なくとも2 mの距離を空けることが望ましい。）
- 練習・演技中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと。
- タオル・コップ等の共有はしないこと。（マイタオルとマイボトルの準備・携帯）
- 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること。
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等は、持ち帰ること。（会場内外に捨てない。）